

加工施設再編等緊急対策事業のうち製粉工場等再編合理化事業の事業評価票

1 事業実施主体名：沖縄製粉株式会社

2 事業実施期間：平成28年 ～ 令和4年

3 補助額（事業費）：61,493,397円（133,905,737円）

4 事業内容

- ・製粉工場の一部設備の廃棄・撤去による能力削減及び稼働率の向上
- ・乾麺（手延麺）設備の刷新による生産効率、歩留の向上及び新製品の開発の実施
- ・ミックス設備の刷新による生産効率の向上及び新製品の開発の実施

5 成果目標の達成状況

成果目標の具体的内容 上段は実施要領上の成果目標 下段（ ）は事業者が定めた目標	達成状況		
	基準年（平成27年）	令和4年 （目標値）	達成率
製造コストを5%以上削減 （5.0%削減）	7,011円/トン	7,856円/トン （6,660円/トン）	0% （12.1%増加）
稼働率を5ポイント以上増加 （19.5ポイント増加）	51.3%	64.8% （70.8%）	69% （13.5ポイント増加）
国内産麦の引取量増加 （15トン増加）	0トン	2トン （15トン）	13% （2トン増加）
販売金額又は販売数量の5%以上の増加 （販売数量の5%増加）	20,993トン	18,682トン （22,043トン）	0% （11.0%減少）

6 評価

A：目標以上の成果を達成

B：おおむね目標どおりの成果を達成

③：目標未達

注：A～Cのいずれかに○を付けること。

7 農産局長の総合所見

令和3年度に目標が達成できなかったことから、改善計画の報告を求めたところである。令和4年度においても、新型コロナウイルスの影響による大幅な需要減少に伴い、原料小麦の使用量が減少したことが引き続き影響し、目標を達成できていないが、稼働率については令和3年度より改善している。令和4年度も目標を達成していないことから、目標達成に向け再度必要な改善計画の作成を求めることとする。

加工施設再編等緊急対策事業のうち製粉工場等再編合理化事業の事業評価票

- 1 事業実施主体名：永倉精麦株式会社
- 2 事業実施期間：平成27年 ～ 令和4年
- 3 補助額（事業費）：7,515,000円（16,232,400円）

4 事業内容

- ・ 操業度の向上及び製造コストの縮小のため、精麦工場等の一部の施設等の廃棄・撤去

5 成果目標の達成状況

成果目標の具体的内容 上段は実施要領上の成果目標 下段（ ）は事業者が定めた目標	達成状況		
	基準年（平成26年）	令和4年 （目標値）	達成率
製造コストを5%以上削減 （5%削減）	212,175円/トン	281,801円/トン (201,565円/トン)	0% (32.8%増加)
稼働率を5ポイント以上増加 （5ポイント増加）	7.7%	6.8% (12.7%)	0% (0.9ポイント減少)
国内産麦の引取量増加 (355トン増加)	2,245トン	1,945トン (2,600トン)	0% (300トン減少)

6 評価

- A : 目標以上の成果を達成
B : おおむね目標どおりの成果を達成
C : 目標未達

注：A～Cのいずれかに○を付けること。

7 農産局長の総合所見

令和3年度に目標が達成できなかったことから、改善計画の報告を求めたところである。令和4年度においては、いまだ、新型コロナウイルスの影響が残っており、小売り向け製品及び給食向け製品ともに販売不信が続いており目標を達成できなかった。令和4年度も目標を達成していないことから、目標達成に向け再度必要な改善計画の作成を求めることとする。

加工施設再編等緊急対策事業のうち乳業工場機能強化事業の事業評価票

- 事業実施主体名：よつ葉乳業株式会社
- 事業実施期間：令和２年度
- 補助額（事業費）：513,487,500円（1,129,672,500円）

4 事業内容

輸入品との競合が見込まれる粉乳の生産を抑制し、輸入品との競合が少なく、今後の需要増加が見込まれる脱脂濃縮乳、家庭用バター、カマンベールチーズへの生産体制の転換のための整備を行う。

（整備内容）

カップバター生産設備

濃縮乳生産設備

カマンベールチーズ生産設備

5 成果目標の達成状況

対象工場における製造ライン転換後の品目の年間製造量（トン）

ライン転換後の品目	現況値	目標値	実績	備考
	平成28年	令和４年度	令和４年度	
家庭用バター	3,459	4,800	4,679	
カマンベールチーズ	108	190	247	
脱脂濃縮乳	11,621	13,500	12,608	

6 評価

A：目標以上の成果を達成

B：おおむね目標どおりの成果を達成

③：目標未達

注：A～Cのいずれかに○を付けること。

7 農政局長等の総合所見

カマンベールチーズについては、評価目標を達成した。
家庭用バターについては、令和２年度及び３年度には目標を達成していたが、令和４年度には代謝の販促の影響等により、製造の目標値4,800トン／年に対し、令和４年度実績値は4,679／年となり目標を下回ったため、目標達成に必要な改善計画の作成を求める。
脱脂濃縮乳については、コーヒーチェーン店などでの消費を見込んでいたが、新型コロナの影響等により、製造量の目標値13,500トン／年に対し、令和４年度実績値は12,608トン／年となり目標を下回ったため、目標達成に必要な改善計画の作成を求める。

加工施設再編等緊急対策事業のうち乳業工場機能強化事業の事業評価票

- 1 事業実施主体名：よつ葉乳業株式会社
- 2 事業実施期間：令和元年度
- 3 補助額（事業費）：392,875,000円（851,279,000円）

4 事業内容

輸入品との競合が見込まれる粉乳の生産を抑制し、輸入品との競合が少なく、今後の需要増加が見込まれる脱脂濃縮乳、クリームチーズへの生産体制の転換のための整備を行う。

（整備内容）

濃縮乳生産設備

クリームチーズ類生産設備

（廃棄内容）

既存クリームチーズ生産設備撤去

5 成果目標の達成状況

対象工場における製造ライン転換後の品目の年間製造量（トン）

ライン転換後の品目	現況値	目標値	実績	備考
	平成28年	令和4年度	令和4年度	
脱脂濃縮乳	11,621	13,500	12,608	
クリームチーズ類	24	200	246	

6 評価

A：目標以上の成果を達成

B：おおむね目標どおりの成果を達成

③：目標未達

注：A～Cのいずれかに○を付けること。

7 農政局長等の総合所見

クリームチーズ類については、評価目標を達成した。
脱脂濃縮乳については、コーヒーチェーン店などでの消費を見込んでいたが、新型コロナの影響等により、製造量の目標値13,500トン／年に対し、令和4年度実績値は12,608トン／年となり目標を下回ったため、目標達成に必要な改善計画の作成を求める。

加工施設再編等緊急対策事業のうち乳業工場機能強化事業の事業評価票

- 1 事業実施主体名：よつ葉乳業株式会社
- 2 事業実施期間：平成30年度
- 3 補助額（事業費）：372,778,732円（805,778,732円）

4 事業内容

輸入品との競合が見込まれる粉乳の生産を抑制し、輸入品との競合が少なく、今後の需要増加が見込まれる脱脂濃縮乳、家庭用バター、クリームチーズへの生産体制の転換のための整備を行う。

（整備内容）

家庭用バター生産設備

クリームチーズ類生産設備

（廃棄内容）

既存粉乳生産設備（乾燥設備）

5 成果目標の達成状況

対象工場における製造ライン転換後の品目の年間製造量（トン）

ライン転換後の品目	現況値	目標値	実績	備考
	平成28年	令和4年度	令和4年度	
家庭用バター	2,960	3,300	3,503	
クリームチーズ類	24	200	246	

6 評価

Ⓐ：目標以上の成果を達成

B：おおむね目標どおりの成果を達成

C：目標未達

注：A～Cのいずれかに○を付けること。

7 農政局長等の総合所見

家庭用バター、クリームチーズについては、評価目標を達成した。

加工施設再編等緊急対策事業のうち乳業工場機能強化事業の事業評価票

- 1 事業実施主体名：よつ葉乳業株式会社
- 2 事業実施期間：平成29年度
- 3 補助額（事業費）：333,273,903円（783,903,962円）

4 事業内容

輸入品との競合が見込まれるハード系チーズのうちシュレッドタイプの生産から撤退し、今後の需要増加が見込まれるはっ酵乳の生産体制を整備する。

（整備内容）

はっ酵乳生産設備

（廃棄内容）

ハード系チーズ（シュレッドタイプ）生産設備

5 成果目標の達成状況

対象工場における製造ライン転換後の品目の年間製造量（トン）

ライン転換後の品目	現況値	目標値	実績	備考
	平成27年	令和3年度	令和4年度	
はっ酵乳	980	5,370	3,256	

6 評価

A：目標以上の成果を達成

B：おおむね目標どおりの成果を達成

☒ C：目標未達

注：A～Cのいずれかに○を付けること。

7 農政局長等の総合所見

はっ酵乳ブームを見越して設定した製造量の目標値5,370トン／年に対し、令和4年度実績値は3,256トン／年となり目標を下回ったため、目標達成に必要な改善計画の作成を求める。

加工施設再編等緊急対策事業のうちばれいしょでん粉工場等再編合理化事業の事業評価票

- 事業実施主体名：美幌地方農産加工農業協同組合連合会、小清水町農業協同組合
しれとこ斜里農業協同組合、オホーツク網走農業協同組合
- 事業実施期間：令和元年 ～ 令和4年
- 補助額（事業費）：6,477,688,707円（2,942,054,745円）

4 事業内容

JAオホーツク網走におけるでん粉工場の解体・撤去。
美幌農工連、JA小清水、JAしれとこ斜里における原料受入能力の増強。

5 成果目標の達成状況

成果目標の内容	基準年	目標年	達成率	備考
	平成30年	令和4年		
1日当たり稼働率を96.0%に向上	84.1%	94.9%	90.8%	
製造コストを3.8%削減	32,809円/t	37,416円/t	▲367.7%	

6 評価

- A：目標以上の成果を達成
B：おおむね目標どおりの成果を達成
C：目標未達

注：A～Cのいずれかに○を付けること。

7 農産局長の総合所見

稼働率向上に関しては成果目標を概ね達成しており、事業による取組の効果があったと認められる。しかし、製造コスト削減の成果目標に関しては、昨今の光熱動力費、諸資材費等の高騰を受け、トン当たり製造経費は基準年よりも増加し、目標達成には至らなかった。
このことから、事業実施主体に対し、製造コスト削減目標について改善計画の提出を求めることとする。